

# 小学校・国語

平成28年度「全国学力・学習状況調査」相模原市分析結果について

## 小学校国語における本市の状況

### 結果の概要（A問題）

本市の国語A（主として知識に関する問題）の全体的な結果は、全国よりやや低い状況である。

漢字やローマ字を正しく読むこと、書くことについては、正答率が低い。

#### 【調査問題の趣旨】

基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

### 結果の概要（B問題）

本市の国語B（主として活用に関する問題）の全体的な結果は、全国とほぼ同様の状況である。

目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くこと、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことにおいて正答率が低い。

#### 【調査問題の趣旨】

基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

### 指導の成果がみられる点

「読むこと」について、文章を図表やグラフなどと関係付けて読む力が付いているかどうかをみる問題では、正答率（H25 およそ5割及び6割 H28 およそ9割）が向上している。

## 【A問題】漢字やローマ字を読むこと、書くことについては、一部に課題がある。

平仮名で表記されたものをローマ字で書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読んだりすることができるかどうかをみる問題

8 次の1と2の言葉を、例のように、ローマ字で、いねいに書きましょう。また、3のローマ字は、ひらがなで、いねいに書きましょう。

(例) [ いぬ ] ⇒ inu

1 [ りんご ] ⇒ \_\_\_\_\_

2 [ あざって ] ⇒ \_\_\_\_\_

3 hyaku ⇒ [ \_\_\_\_\_ ]

※ 解答は、解答用紙に書きましょう。

- |   |            |          |           |
|---|------------|----------|-----------|
| 1 | 正答: ringo  | (全国公立学校) | 正答率 53.2% |
| 2 | 正答: asatte | (全国公立学校) | 正答率 41.8% |
| 3 | 正答: ひゃく    | (全国公立学校) | 正答率 50.7% |
- 正答率は全国より低い。

1	正答	かいせい	(全国公立学校)	正答率	79.3%
2	正答	はぶ	(全国公立学校)	正答率	81.0%
3	正答	相談	(全国公立学校)	正答率	64.2%

正答率は全国より低い。

③ 先生に「そう」だんする。

② したしい友人と出かける。

1 アサガオのたねをまく。

二 1から3までの文の 部のひらがなを、漢字で、いねいに書きましょう。

③ むだを省くようにする。

2 お年玉を貯金する。

① 今日は全国的に快晴だ。

一 1から3までの文の 部の漢字の読みを、ひらがなで、いねいに書きましょう。

1 次の一と二の問いに答えましょう。

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるとどうかをみる問題

新出漢字の読みや意味を自ら調べたり、漢字の持つ意味を考えながら正しく使ったりする習慣を身に付け、漢字を正しく読んだり書いたりすることができるよう、指導の充実を目指します！

# 小学校・国語

平成28年度「全国学力・学習状況調査」相模原市分析結果について

【B問題】(1) 目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くことに課題がある。

目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題

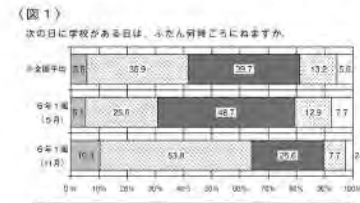
2 六半一組の高野さんの学校では、健康な生活のために「早起き運動」は、運動に取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学校のみんなに伝えることにしました。次は、高野さんが書いている「報告文の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文の一部】

○「早起き運動」活動のまとめ

1 成果  
アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。  
(図1)のように、活動を始める前の五月の時点では、「次の日に学校がある日」に夜十時過ぎても起きている人の割合が全国平均を上回り、早起ができていない人は減りました。それが半年間の活動後には、夜十時までに寝る人の割合が

その理由として、(表1)から、「成長に大事をすいみんを十分に与えるために、夜十時までに寝よう」という保健室の先生のお話やみんなの心に残ったのだと考えます。他にも、毎日体を動かすように、休日がな日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に「早起き運動」ができたことを記録する活動を行ったことなどもあげられます。



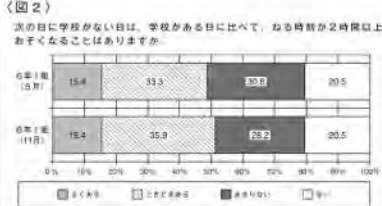
6年1組 (5月) 10.1 10.1 10.1 10.1  
6年1組 (11月) 10.1 10.1 10.1 10.1  
全国平均 10.1 10.1 10.1 10.1

2 課題  
成果があった一方、生活のリズムを戻すという点で、今回の活動では改善できず、「これから解決していきたい課題があることが分かりました。」  
課題は(図2)から分かるように、

この課題を解決するためにはテレビやゲームの時間、メールなどを減らす時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが(表2)から分かります。

3 解決方法  
そこで、わたしたちは多くの人を取り組める次のような解決方法を考えました。

○「朝ごはん」活動について  
～報告文が続く～



〈表1〉 寝るようになるようになった理由は何ですか。(いくつ選んでもかまいません。)(6年1組 11月)

保健室の先生のお話から、すいみんが成長に大事だと分かったから	20人
毎日体を動かしたから、寝られやすくなったから	14人
「健康せんげんカード」に記録するから	10人
早起きしたら授業に集中できるようになったから	8人
早起したら授業に集中できるようになったから	5人
その他	11人

〈表2〉 ねる時間が2時間以上おそくなる理由は何ですか。(いくつ選んでもかまいません。)(6年1組 11月)

朝ごはんまでテレビを見たり、ゲームをしていたりしているから	20人
朝ごはんまで友達とメールなどをしていいるから	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくていいから	10人
友達のみならず寝ているから	4人
その他	7人

二 高野さんは、「2 課題」と「3 解決方法」について書こうとしています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高野さんは、「2 課題」について(図2)を用いて書こうとしています。Bの中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

○(図2)の結果から考えて書くこと。  
○書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはかまわない。

正答例 次の日に学校がない日は、学校がある日と比べて、ねる時間が二時間以上おそくなる人のわり合が減っていません。(5文字)  
全国公立学校 正答率 51.4%  
正答率は全国より低い。

図表やグラフなどを根拠にすると読み手への説得力が高まることを子どもたちが実感し、目的や意図に応じて自分の考えを書くことができるよう、指導の充実を目指します！

【B問題】(2) 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。

目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができるかどうかをみる問題

【特に心に残ったこと】

喜び	苦労
	材料の分量や焼く温度などをその日の天気などに合わせて変える必要があり、毎日同じ味になるように作る事が難しい。

「資料をもとにしたメモの一部」

【特に心に残ったこと】

毎日、天気に関わらず同じ味になるように作るのは、とても難しいことだけれど、お客さんが喜んでくれる時は、やりがいを感じる事ができるんだ。

「資料をもとにしたメモの一部」

「パン職人の声」

「資料2」

この仕事の大変なところ、苦労は何ですか。

同じ種類のパンでも、材料の分量や焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるの、毎日同じ味になるように作り方を考えるのが難しいです。

また、お客様がどんなパンを食べてほしいのかを想像し、自分らしく考えたパンを思いどおりに作ることは、さらに難しいです。

◆ どのような時に仕事の喜びを感じますか。

わたしはパンが大好きなので、パンのおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。自分の思いどおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれしいです。いいにおい、包まれないながら、ふっくらと焼き上がったパンがまから出てくる。パン作りの苦労が小さく感じます。

焼き立てのパンがお店に並ぶと、お客様から「お、おいしー」とか声が聞かれます。お客様から「お、おいしー」とか声が聞かれます。お客様から「お、おいしー」とか声が聞かれます。お客様から「お、おいしー」とか声が聞かれます。

◆ どのようにして、パン職人になったのですか。

中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入學して、いろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として経験をしました。録音中は、夢中でパンの作り方を学びました。四年たて、パン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

○ 答口さんの「特に心に残ったこと」が伝わるように書くこと。

○ 「資料2」から取り上げて書くこと。

○ 四十文字以上、六十文字以内で書くこと。

正答例:焼き立てのパンが店にならび、お客さまのうれしそうな声が聞こえた時は、パン職人をやっていたよかったと実感する。(54字)

(全国公立学校 正答率 52.9% 無解答率 11.5%)  
 正答率は全国より低く、無解答率は全国と同様に高い。

筆者が文章で取り上げている内容の中心を押さえ、自分の知識や経験などと関係付けながら読み取り、自分の考えを持ちながら読むことができるよう、指導の充実を目指します！

# 小学校・国語

平成28年度「全国学力・学習状況調査」相模原市分析結果について

【指導の成果がみられる点】 目的に応じて文章と図表やグラフなどと関係付け、的確に読む力が身に付いてきている。

平成25年度A問題 5 正答:ア1、イ3  
ア:およそ5割の正答率(相模原市立小学校)  
イ:およそ6割の正答率(相模原市立小学校)

- ア 1 広告を見る人が行動をうながすこととする  
 2 目が自由な方を動かすこととする  
 3 視覚に合ったことを報告しようとする
- イ 1 声をかけるときの順序  
 2 声をかけるときの注意点  
 3 声をかけるときの具体例

【小島さんのノートの一部】  
 この広告には、紙のホリムで目が自由な方に動かしたときに、声をかけることをすすめるようになっている。  
 そのために、まず①の部分では、広告の作り手がよびかけの表現を用いて大きな文字で示している。そのことは、広告を見る人に強い印象をあたえている。  
 次に、②の部分では、①をもとに、実際に「イ」を指示している。そのことにより、広告を見る人が行動につなげやすくなっている。  
 「イ」



5 「小島さんは、服にはらわれていた。次の『広告』を見て、考えたことをア・イにまとめました。ア・イの中に入る内容を報告しよう。ア・イの中に入る内容を報告しよう。ア・イの中に入る内容を報告しよう。」

平成28年度A問題 5 正答:4  
およそ9割の正答率(相模原市立小学校)

- 1 けんぼ広場  
 2 サッカー広場  
 3 ヴォレー広場  
 4 ビクニック広場  
 5 水遊び広場



【パンフレットの一部分】

広場	広場の説明	飲食	ボール使用
わんぱく広場	小さい子ども向けの遊び場です。小学生以上は遊ばせません。	○	○
フラワー広場	花畑があり、季節の花を楽しむことができます。	×	×
グリーン広場	段ボールなどですべり降りることができる芝生の斜面があります。	○	○
ビクニック広場	眺めがよく、公園の中で一番広い広場です。	○	○
水遊び広場	噴水があります。夏には、水遊びができます。	○	×

5 山田さんは、学校の遠足で「南町公園」に行くことになりました。そこで、グループで活動する広場を決めようとしています。次の「南町公園案内図」と「パンフレットの一部分」をよく読んで、「山田さんのグループの希望」に最も合う広場を、おどの1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

文章を図表やグラフなどと関係付けて読む力については、国語科だけではなく、各教科等において目的や意図に応じて必要な情報を集めたり、まとめたりする活動を行ったことにより、身に付いてきたと考えられます。



# 小学校・国語

平成28年度「全国学力・学習状況調査」相模原市分析結果について

## 質問紙からみえてきたこと

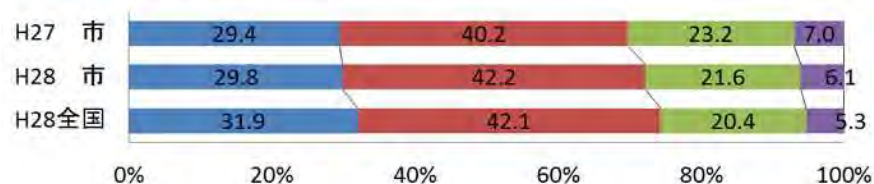
### 児童質問紙

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

**Q** 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



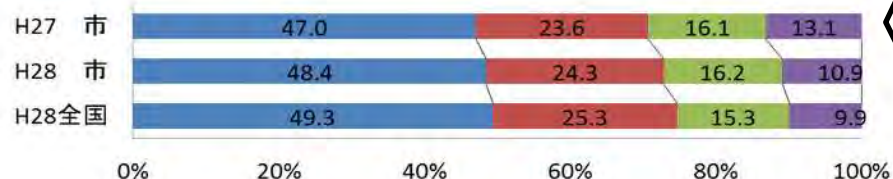
**Q** 国語の授業で自分の考えを書きとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



書くことについて、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的な回答をしている児童の割合は、平成27年度の結果よりもやや増えているが、全国よりもやや低い。

**「相手や目的をはっきりさせて文章を書く」「自分の考えだけでなく相手が書き手の考えを理解できるように文章の構成を工夫して書く」等の学習活動を通して、書く力を育むことができるよう、指導の充実を目指します！**

**Q** 読書は好きですか



読書について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的な回答をしている児童の割合は、平成27年度の結果よりもやや増えており、全国とほぼ同様である。

### 保護者の皆様へ

・いろいろな種類の本や文章に触れる機会をつくってみましょう！

文学的な文章(絵本、物語文)、説明的な文章(説明文、新聞、コラムなど)を読むことによって、ものの見方や考えが広がります。また、言葉の正しさや美しさ、優れた表現に触れ、子ども自身の語感も磨かれます。楽しむために読む、調べるために読む、知的欲求を満たすために読むなど、いろいろな目的に応じて本を選び、読む機会をつくってみてはいかがでしょうか。

・「こんな本ないかな？」など本選びに困ったり迷ったりした時には、**学校図書館図書整理員さんがサポートしてくれます！**

相模原市の小中学校には、図書整理員を配置しています。読書環境、読書相談等の役割を担っています。